

2020年7月21日

CVIT 会員 各位

## 【重要】2021年レジストリー項目改定について

CVIT レジストリー委員会  
委員長 天野 哲也

平素より学会活動にご高配賜り、厚く御礼申し上げます。

2021年1月からのJ-PCI レジストリー項目改定の内容につきまして、案内申し上げます。

- ① ご承知のように、本年4月より厚労省保健局医療課との交渉により、ローターブレードのみならず、ELCA と Diamondback 360® に関しても施設基準改定を獲得することが出来ました。具体的には施設内に心臓外科がなくとも、CVIT 指針上の施設基準を満たしていれば、上記アテレクトミーデバイスは使用可能となります。ただ、そのためには、重篤な合併症を生じた時には J-PCI 登録データよりモニタリングできる体制が必須とされており、上記状況を鑑み、これまでのレジストリーの項目を増やすことは極めて慎重に進めてきましたが、使用機器の中に、これまでは同一項目としていた「ELCA」と「Diamondback 360®」を分けて2021年1月より登録することとなります。どうかよろしくお願い致します。
- ② この他の細かい修正事項としては、昨今の新型コロナウイルスの流行を鑑み、背景疾患に「COVID-19」という項目を新たに設置しております。COVID-19 罹患患者に対して PCI が行われましたら、こちらの項目のクリックをお願い致します(緊急時案として2020年春に理事会承認を受けており、既に現段階でクリック可能となっております)。
- ③ この他、昨年総会にて理事長より発案いただき、同年度内のデータマネージャー (DM) 会議にて承認された「シースサイズ」、さらに安定例における虚血の証明の重要性を鑑みて提案・承認された「FFR」や「FFR-CT」の数値登録も実装されております。こちら審議されてからかなりお時間をいただきましたが、併せてよろしくお願い致します。
- ④ 最後に些細な点ではございますが、術前の Cr 値と Hb 値の欠損値が多くなっており、こちら来年度からは必須項目となりますので、どうかご注意の程お願い致します。

## 記：J-PCI 改訂事項

### 実施済み

- ・ 背景疾患に COVID-19 追加（緊急事案、2020 年理事会承認）

### 2021 年 1 月以降実施

- ・ ELCA と Diamondback が別項目となります（今回周知内容）  
使用機器：アテレクトミー（DiamondBack360 等） → アテレクトミー（Diamondback 360） ELCA
- ・ アクセスサイトの シースサイズ を追加（2019 年度 DM 会議討議内容）  
Sheathless 3Fr 4Fr 5Fr 6Fr 7Fr 8Fr 8Fr 以上
- ・ FFR を行った場合に実測値記載（2019 年度 DM 会議討議内容）  
【検査の内容】で「非侵襲的 FFR-CT」や「FFR/Resting index」が選ばれた場合に展開  
（数値の範囲、0.40-1.00）
- ・ 術前の Hb と Cr 値 が必須項目となる

尚 途中での報告となりますが、レジストリー委員会と専門に認定医制度審議会では、「第一術者」「指導医」の定義につきまして、検討を行っております。8 月中旬の委員会にて概ねの定義を審議し、会員の皆様にお示しできるようにする予定ですので、こちらにつきましては追って、連絡させていただきます。

また、J-EVT の方も 2021 年度は項目改定が行われます。現在詳細を詰めておりますが、症例登録用フォーマット（CRF）が完成し次第、別に案内させていただきます。

CVIT 会員の皆様には、ご面倒をお掛けいたしますが、ご理解とご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上